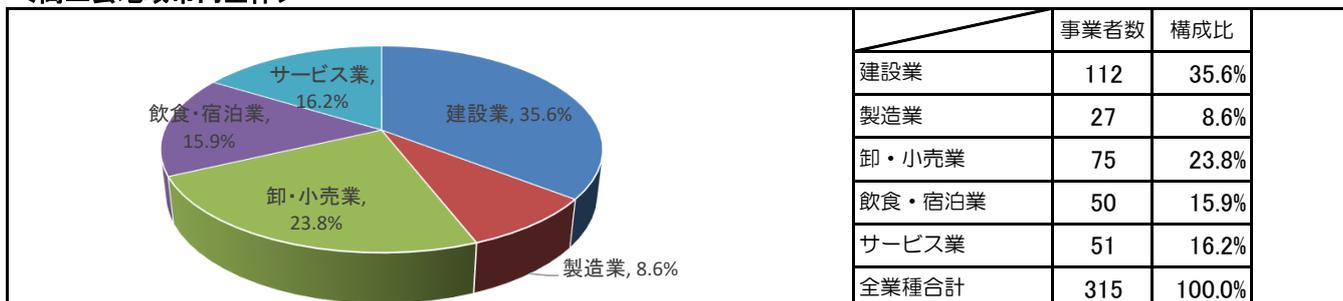


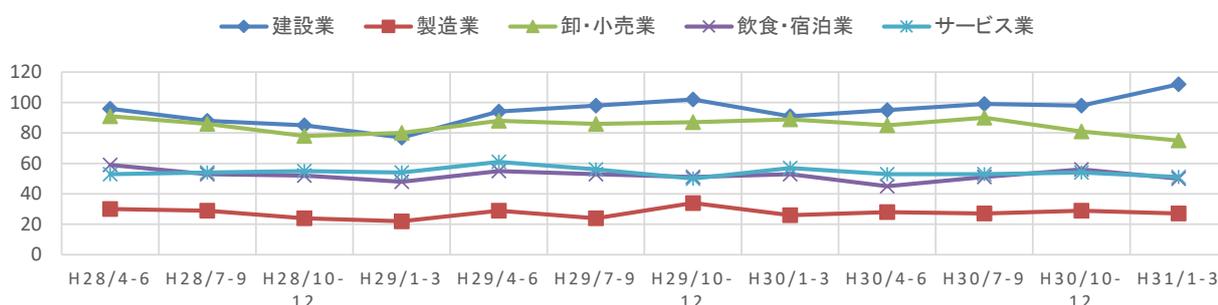
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



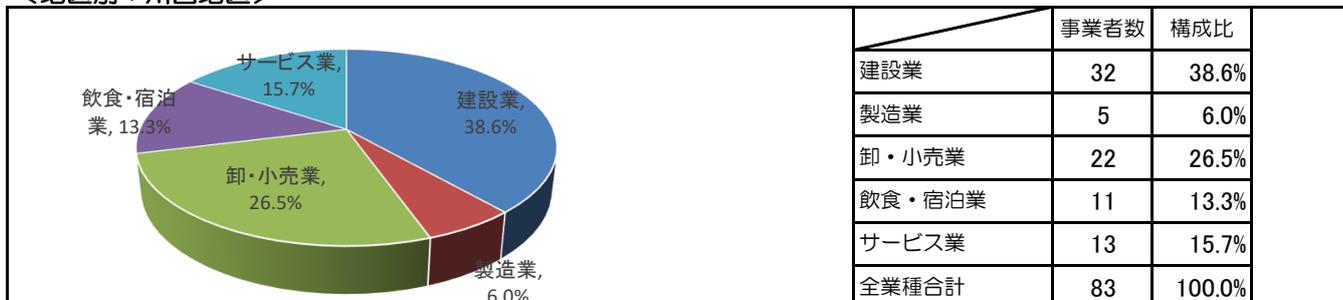
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



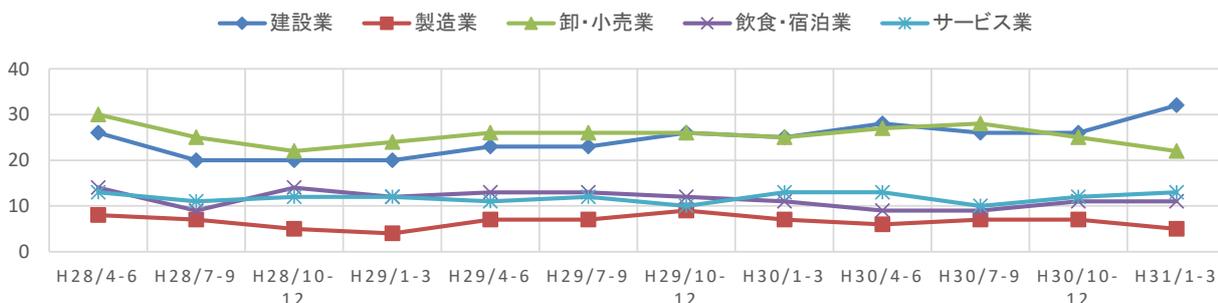
<コメント>

今回の調査も十日町市内商工会地域全体の約3割の事業者から回答を得ている。前回調査よりも3事業所少ない結果であった。建設業からの回答が14事業所増加し、卸・小売業と飲食・宿泊業がそれぞれ6事業所減少している。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

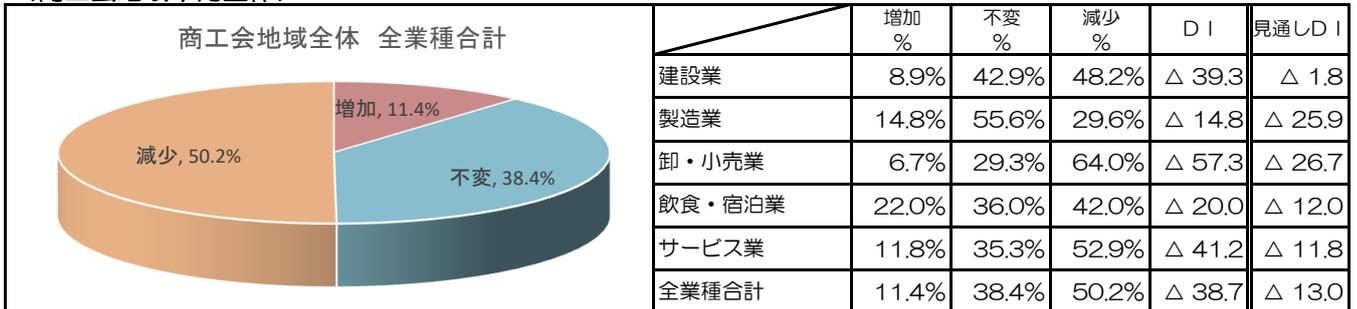
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、83社(回収率83%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業者数と同様の数値である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

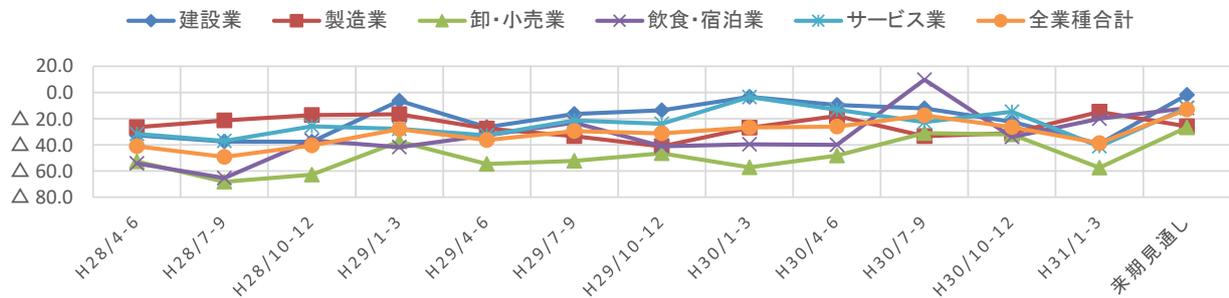
1. 売上について

- ・1月～3月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



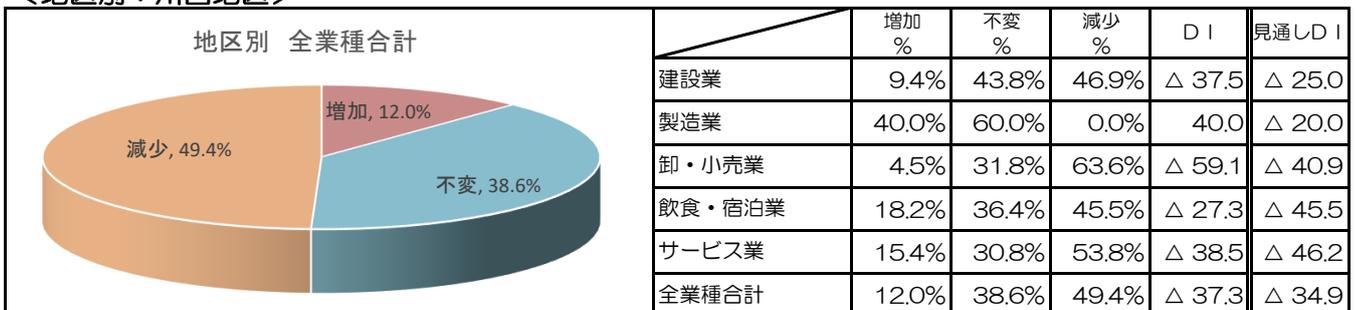
業種別売上の推移(市内全体)



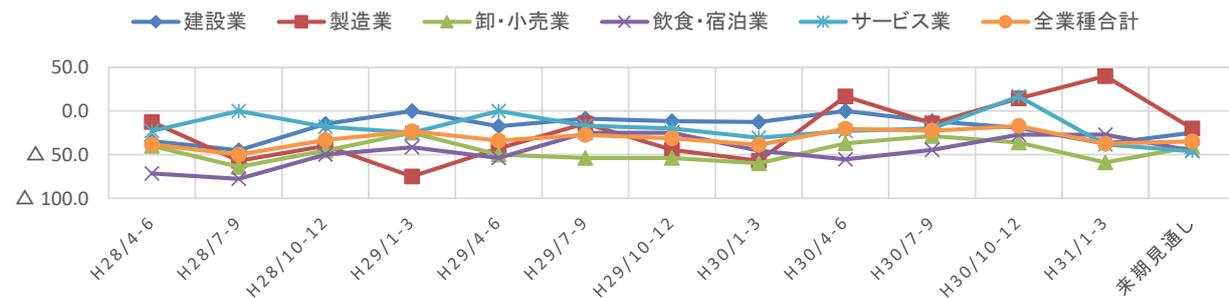
<コメント>

今期の市内全体の売上の状況は、全業種DI値で△38.7ポイントであった。前年同期は△26.7ポイントであり、昨年度よりも12ポイント悪化であった。建設業、卸・小売業、サービス業での悪化がグラフより読み取れる。ただし、来期見通しでは製造業を除き増加予測している業種が多く、改善に期待したいところである。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



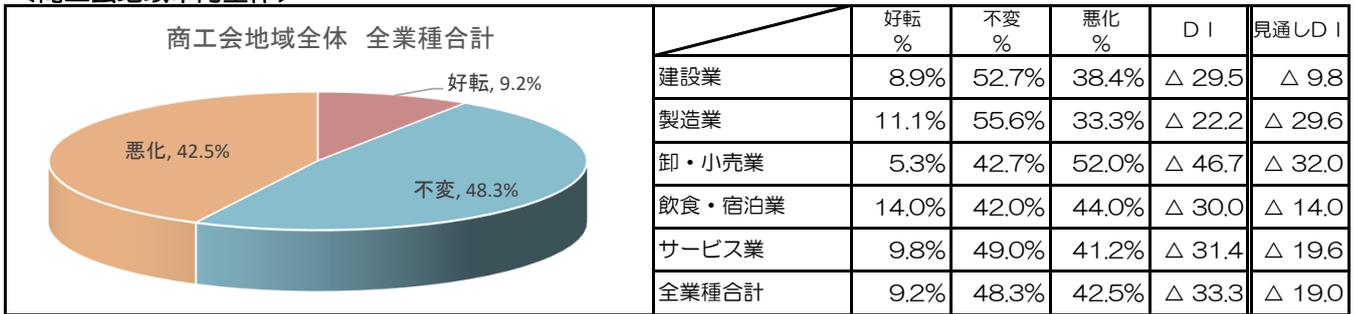
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△37.3ポイントの減少となっている。製造業のみ売上が好調であるが、それ以外の業種では悪化を示している。来期見通しでは全業種で2.4ポイントの回復を予想している。

## 2. 採算について

- ・1月～3月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



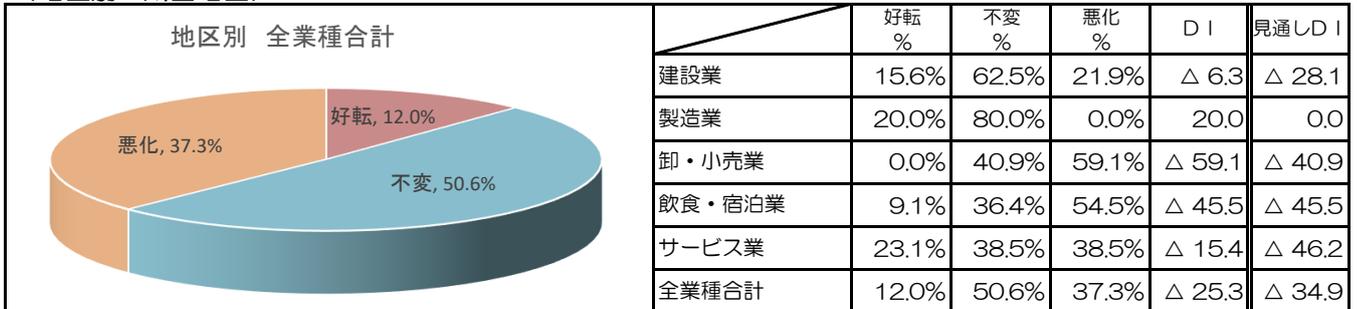
### 業種別採算の推移(市内全体)



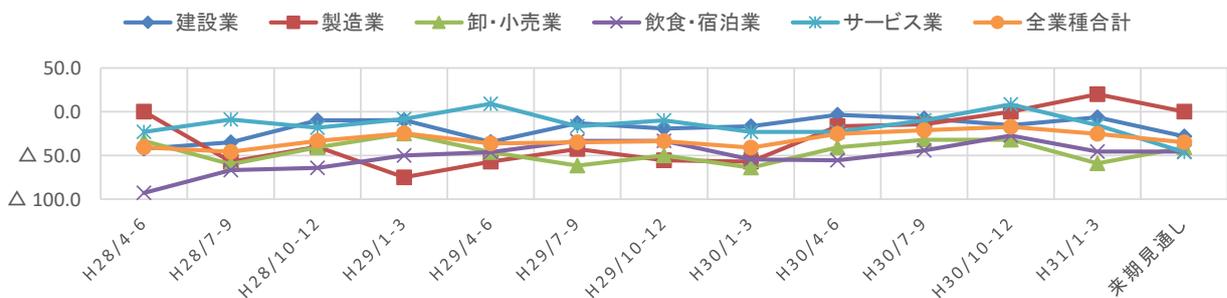
#### <コメント>

今期の市内全体の採算状況は、全業種D I値で△33.3ポイントであった。昨年同期のD Iは△28.3ポイントであり、5ポイントの悪化となっている。推移グラフからわかるように、平成29年度第1四半期から改善傾向にあったが、前回調査及び今回調査で悪化となっている。採算状況は売上状況と比例していることもあり、来期見通しの増加に期待したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別採算の推移(地区別)



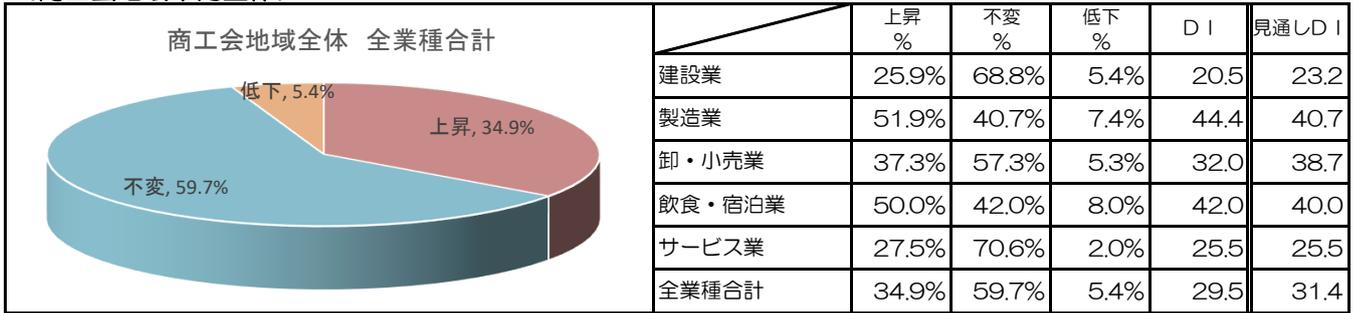
#### <コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△25.3ポイントの悪化となっている。製造業が20.0ポイントの改善であるが、その他の業種においては悪化を示しており、特に卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が顕著である。来期見通しでは全業種で△9.6ポイントの悪化を予想している。

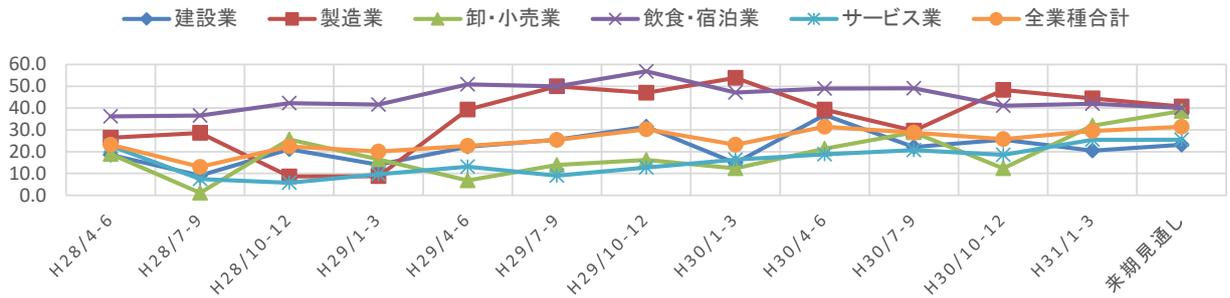
### 3. 仕入単価について

- ・1月～3月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <商工会地域市内全体>



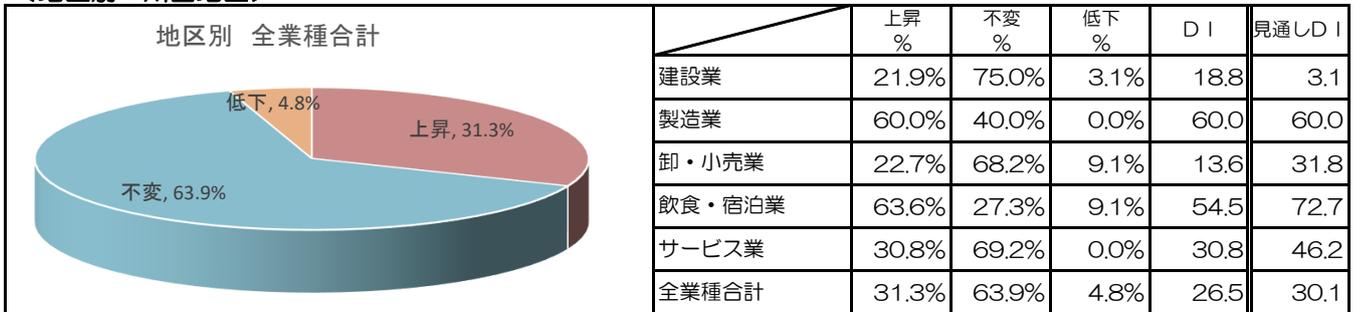
#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)



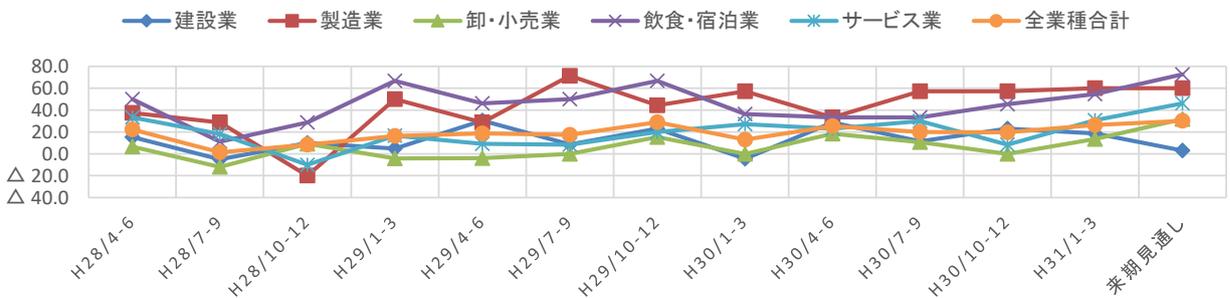
#### <コメント>

今期の市内全体の仕入単価状況は、全業種でのDI値で29.5ポイントであった。全体の約6割は不変と回答されているが、製造業、飲食・宿泊業、卸・小売業にて仕入単価の上昇が見られる。特に卸・小売業においては、前回調査時よりも19.7ポイントの上昇があり、来期見通しにおいても上昇予測されていることから、今後も注視したいところである。

#### <地区別：川西地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)



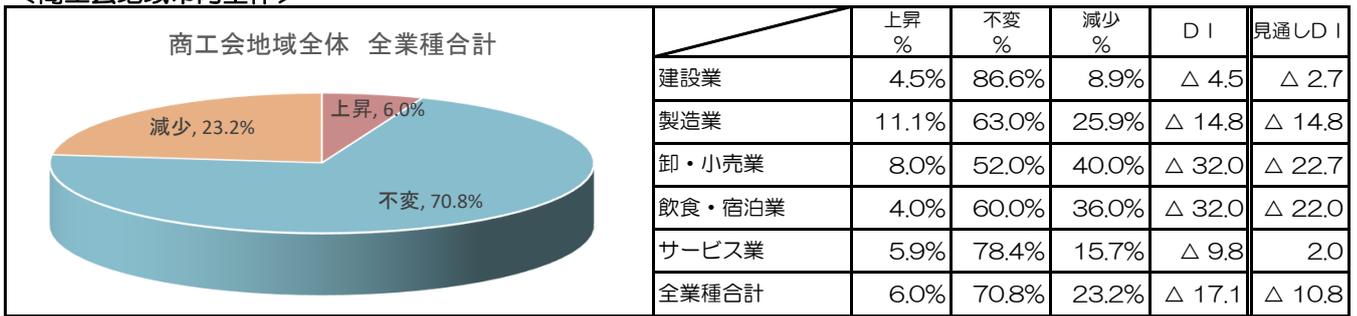
#### <コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して26.5ポイントの上昇を示しており、第3四半期に続いて製造業、飲食・宿泊業における仕入単価の上昇が大きくなっている。来期見通しは全業種でさらに3.6ポイントの上昇が見込まれている。

#### 4. 販売（客）単価について

- ・1月～3月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <商工会地域市内全体>



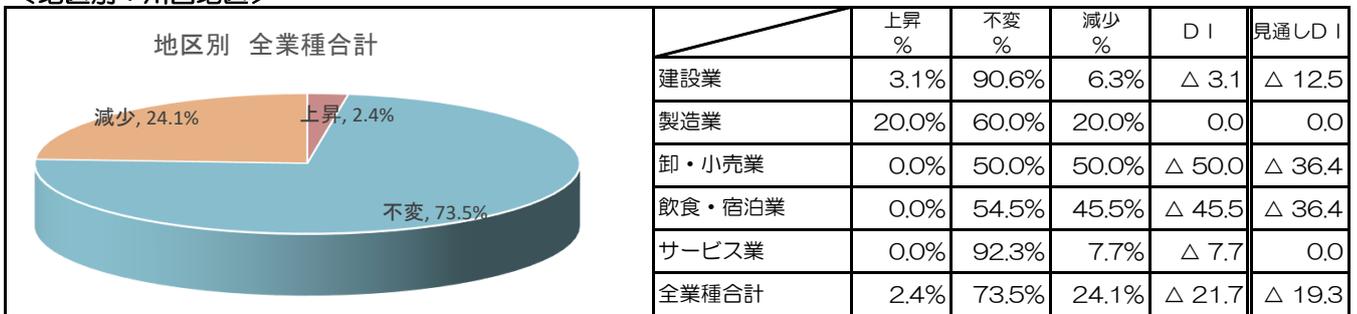
#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



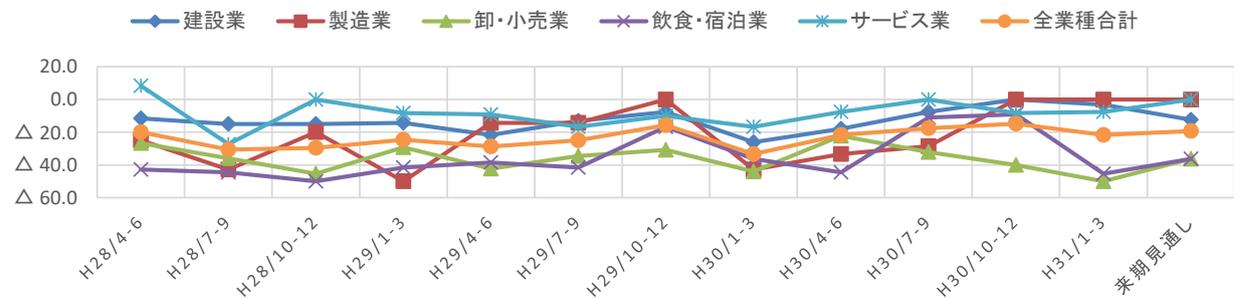
##### <コメント>

今期の販売（客）単価の状況は、全業種のDI値で△17.1ポイントで、前回調査時よりも3.3ポイント減少しているが、前年同期比では3.5ポイント上昇との結果であった。円グラフより不変回答が70.8%あり、大半の事業所は変動が無いことが分かる。来期見通しにおいて販売単価増加が予測されており、今期よりは改善するものと推測できる。

##### <地区別：川西地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



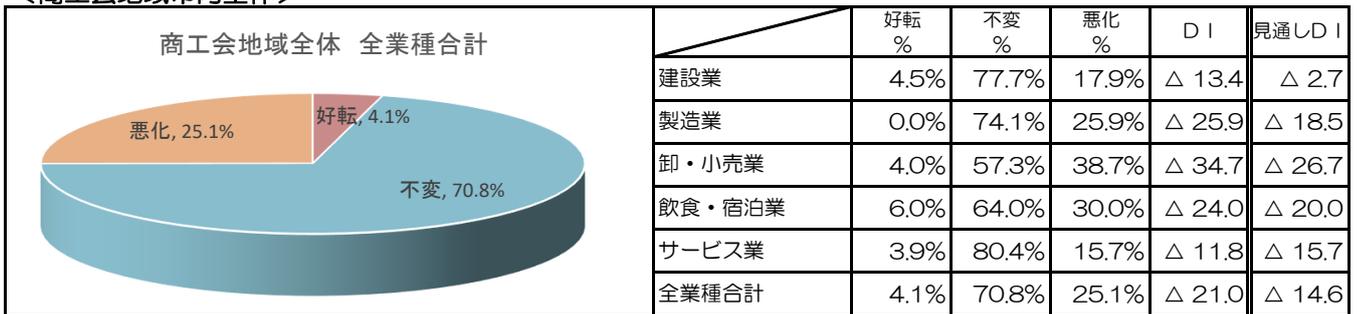
##### <コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△21.7ポイントの悪化となっており、製造業は不変であるが、卸・小売業、飲食・宿泊業の悪化が大きく表れている。来期見通しでは2.4ポイントの改善が予想されている。

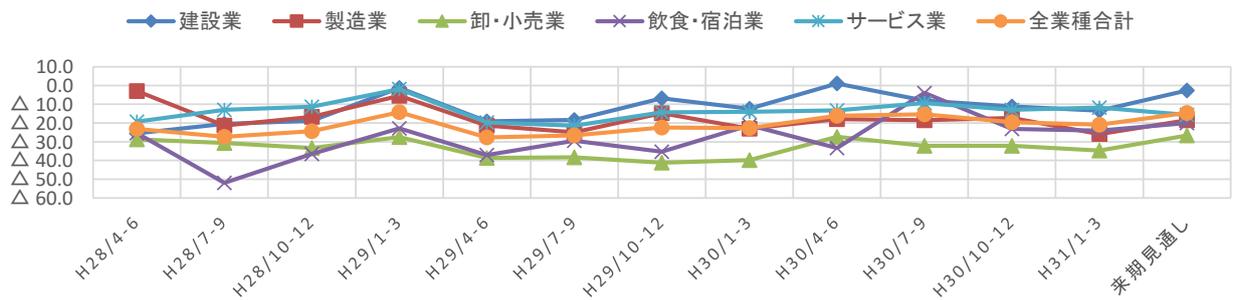
## 5. 資金繰りについて

- ・1月～3月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



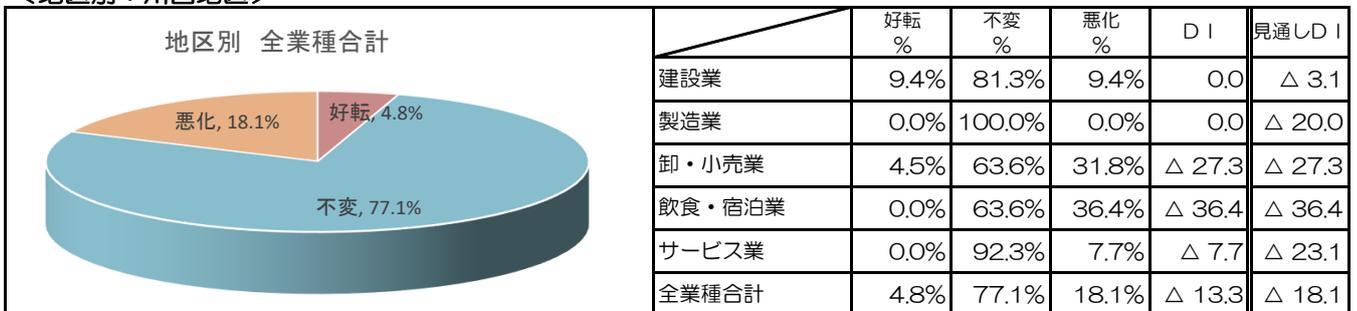
### 業種別資金繰りの推移(市内全体)



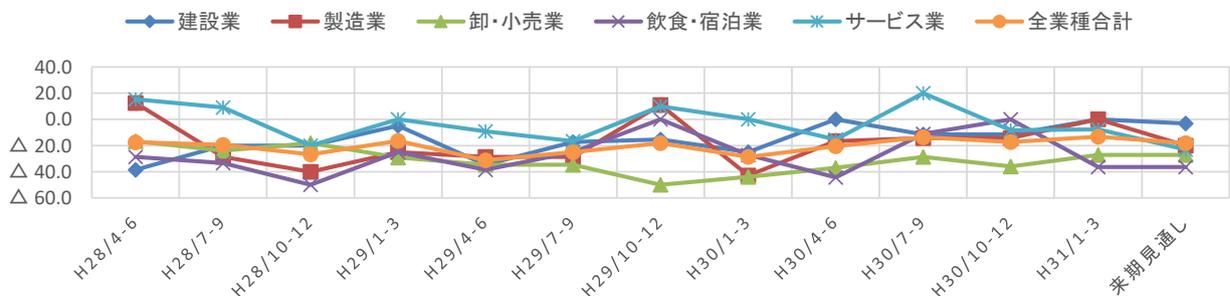
#### <コメント>

今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△21.0ポイントであった。前回調査時よりも0.5ポイント悪化となっているが、前年同期比では1.8ポイント改善している。資金繰りについても円グラフから不変回答が70.8%と変動の無い事業所が多いことが分かるが、業種別では卸・小売業の悪化割合が高く出ている。来期見通しにおいて、今期よりも好転予測されており改善に期待したい。

### <地区別：川西地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)



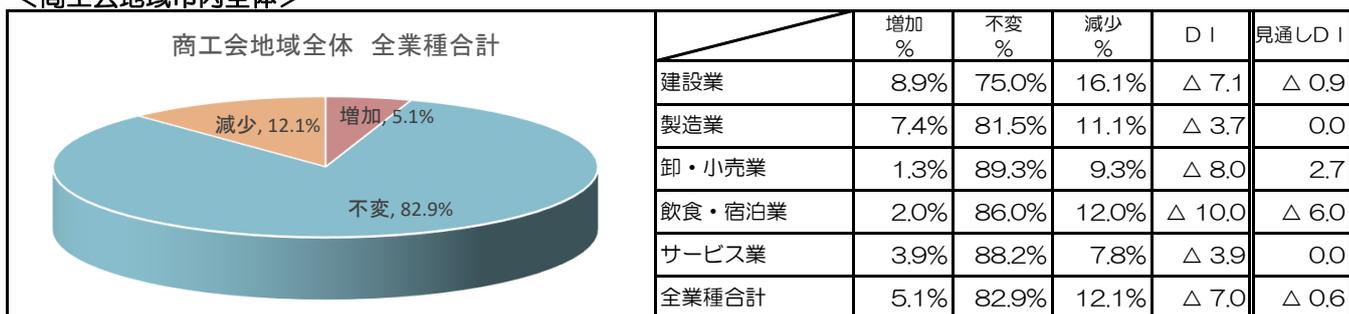
#### <コメント>

川西地域の資金繰りは全業種で△13.3ポイントの悪化であるが、建設業および製造業は不変とのことであった。来期見通しは全体的に△4.8ポイントの悪化が見込まれている。

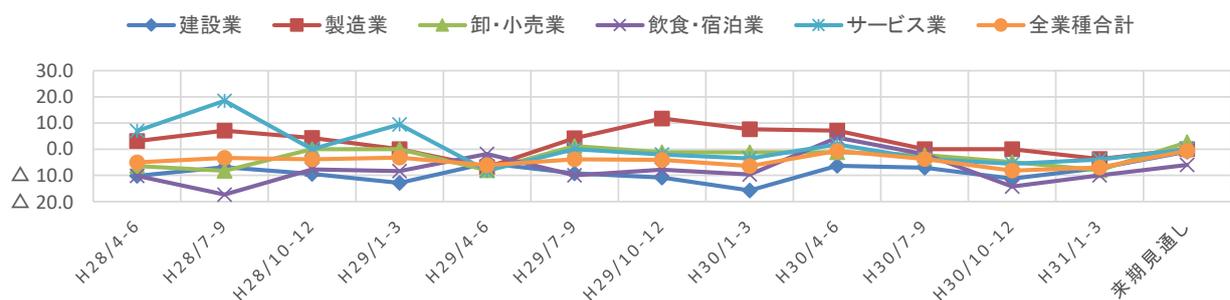
## 6. 従業員数について

- ・1月～3月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



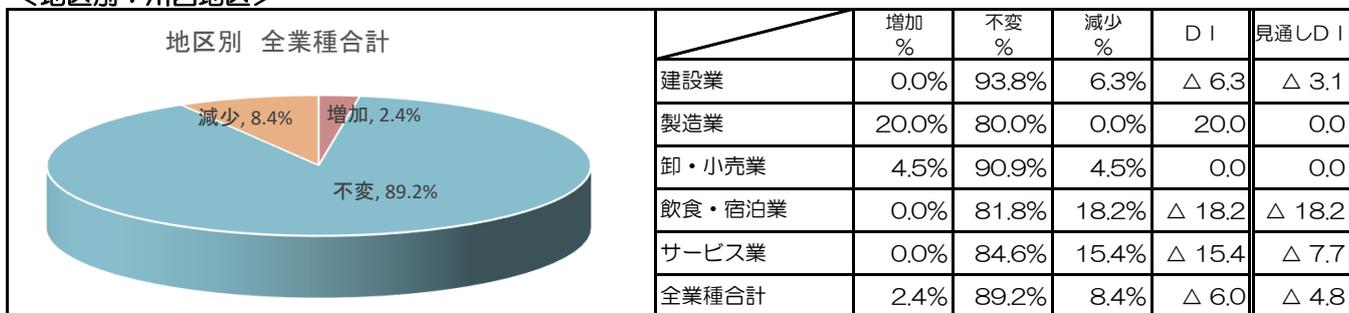
### 業種別従業員数の推移(市内全体)



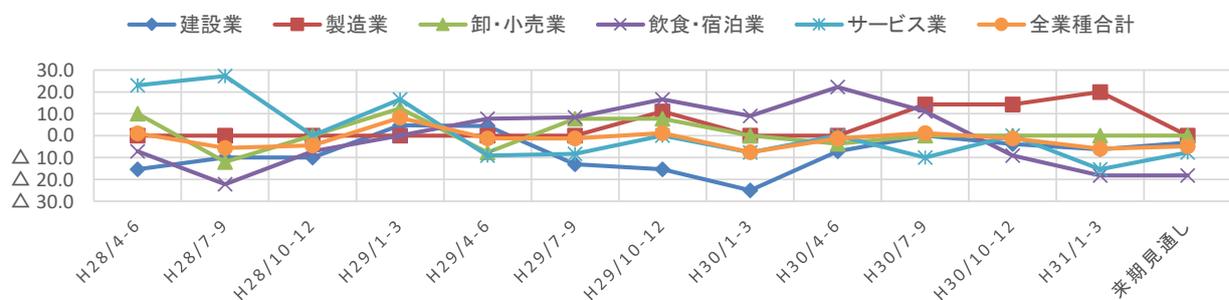
#### <コメント>

今期の従業員数の状況であるが、全業種DI値で△7.0ポイントで、前回調査時よりも1.2ポイント増加となった。8割を超える事業所で不変回答されていることから、全体の変動は無いものと思われる。来期見通しにおいては、全ての業種で増加を示しており、新年度での新規採用も含め増加するものと思われる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別従業員数の推移(地区別)



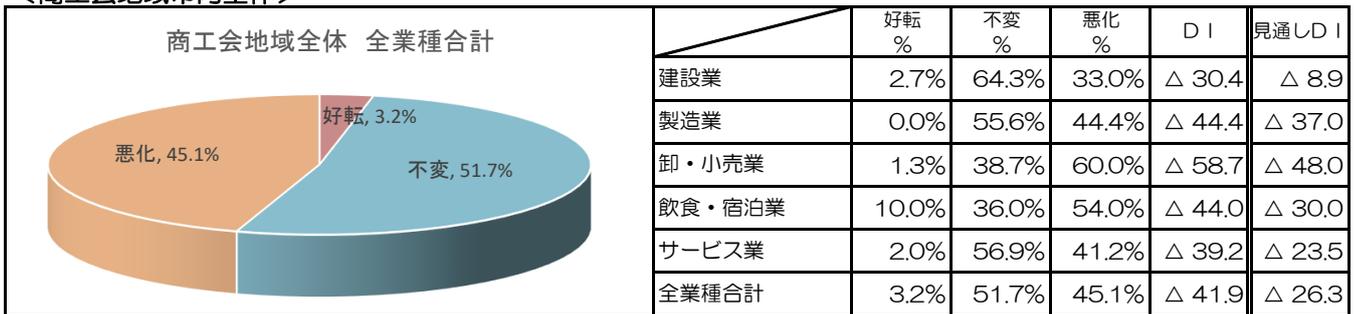
#### <コメント>

川西地域の従業員数は全業種で△6.0ポイントの悪化であるが、第3四半期同様に製造業においては従業員数が増加している傾向にある。全業種から見た来期見通しとしては全体的に1.2ポイントの改善が予想されている。

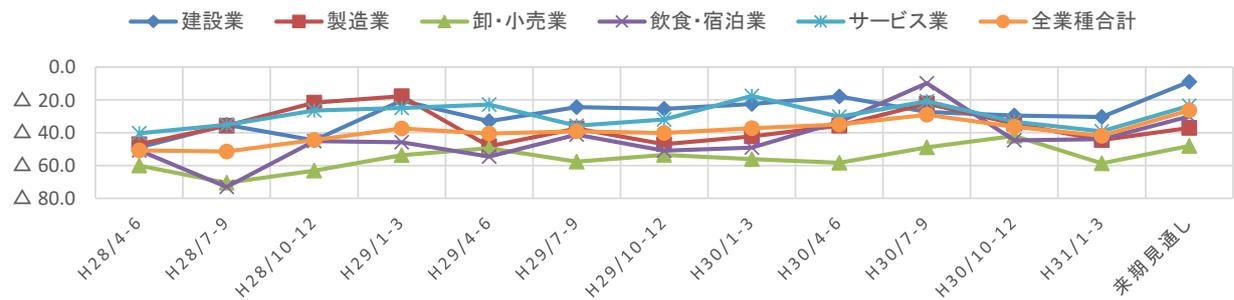
## 7. 景況判断について

- ・1月～3月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <商工会地域市内全体>



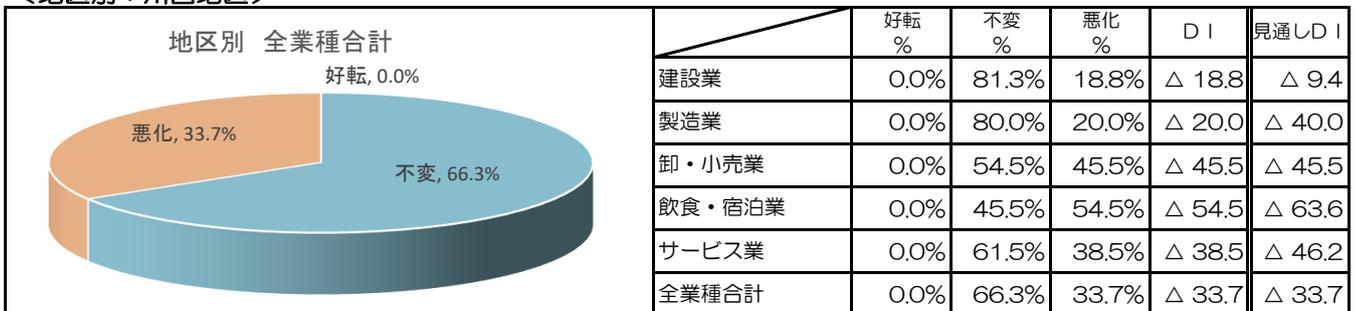
### 業種別景況判断の推移(市内全体)



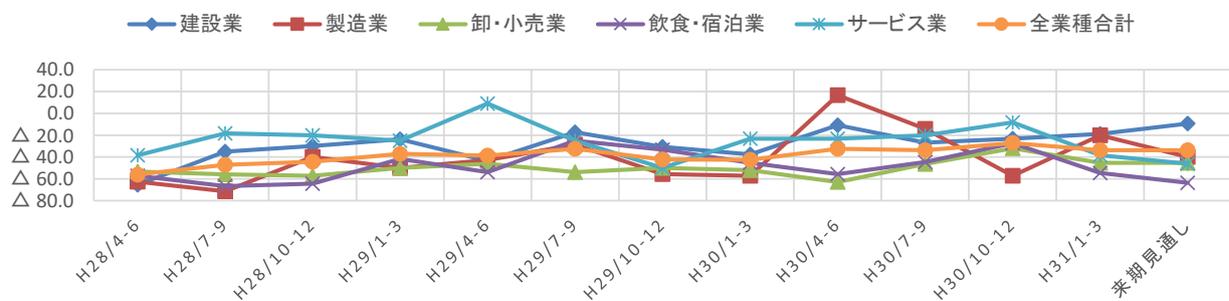
#### <コメント>

今期の景況判断は、全業種全体のDI値で△41.9ポイントで、前回調査時よりも5.4ポイント悪化となっている。この要因は、売上の減少によるものと思われ、前回調査と共に売上状況に比例している。ただし、全ての業種において来期見通しにて好転予測されており、今後は上向くものと思われる。

### <地区別：川西地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)

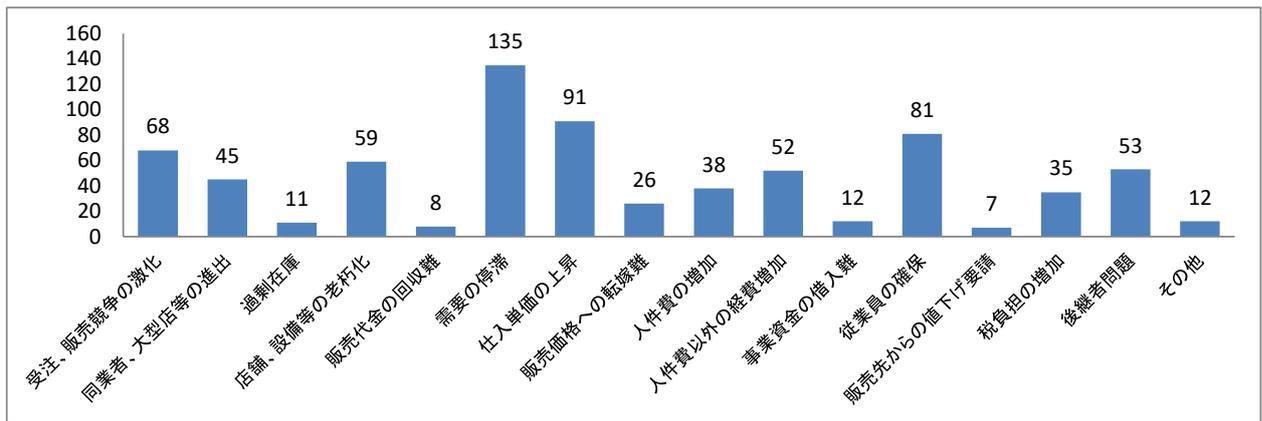


#### <コメント>

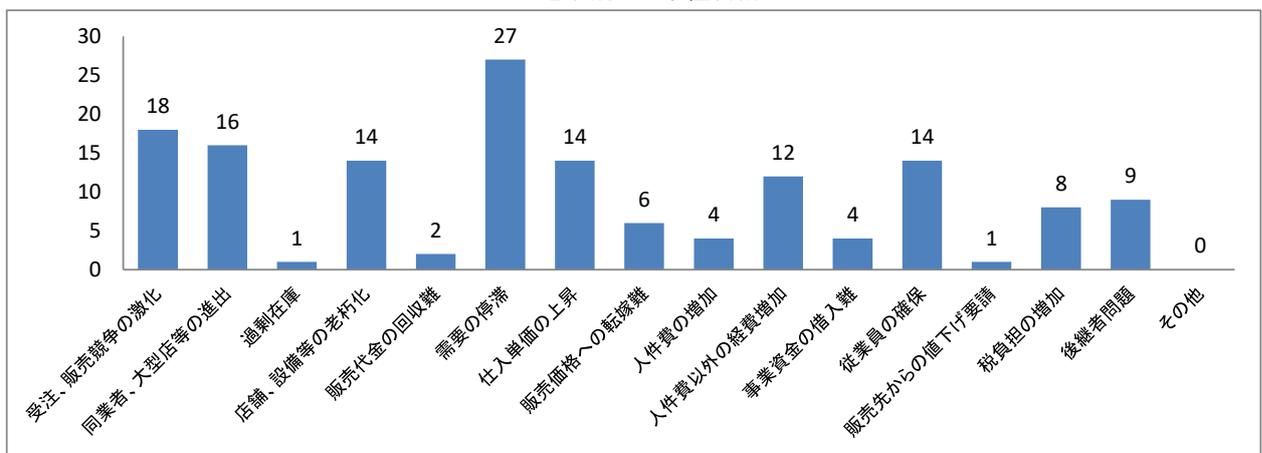
川西地域の景況判断としては全業種で△33.7ポイントの悪化を示しており、中でも卸・小売業、飲食・宿泊業において景況感の悪化が顕著となっている。来期見通しとしては全体的に今期と不変との見方がされている。

## 8. 経営上の問題点（上位3つ）

商工会地域全体 全業種合計



地域別 全業種合計



### <コメント>

今期調査での経営上の問題点は、1位は需要の停滞で前回と変わらなかったが、2位が仕入単価の上昇で、3位が従業員の確保であった。次いで多かったのは、受注、販売競争の激化であり、需要が減っている中で価格競争が行われているものと思われる。

## 9. 地区の景況概要

・1月～3月時点での全体概況は

**【建設業】**  
建設業においては全体的に悪化しているとの回答が多い中、「資金繰り」については前年同期と不変といった回答が多かった。また、経営上の問題点としては1位「受注、販売競争の激化」2位「従業員の確保」3位「需要の停滞」4位「同業者、大型店等の進出」、「仕入単価の上昇」が挙げられており、競合他社への意識及び人材の確保を考える事業所が増えている。

**【製造業】**  
製造業においては「仕入単価」、「景況判断」において悪化を示しているものの、それ以外においては改善及び不変を示している。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「人件費の増加」3位「仕入単価の上昇」4位「人件費以外の経費増加」5位「従業員の確保」が挙げられており、仕入単価や人件費をはじめとした営業コストの増加に目を向ける事業所の増加が見受けられる。

**【卸・小売業】**  
卸・小売業においては「従業員数」が不変でありながら、その他の調査項目に関しては悪化が示されていた。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」と挙げられ、これまで同様に管内需要が停滞する中で競合他社の動向に注視する事業所が増加している。

**【飲食・宿泊業】**  
飲食・宿泊業においては全体的に悪化の傾向が表れているが、特に「仕入単価」、「販売単価」、「景況判断」の悪化が顕著である。経営上の課題については1位「店舗、設備等の老朽化」、「仕入単価の上昇」2位「需要の停滞」、「人件費以外の経費増加」3位「受注、販売競争の激化」、「従業員の確保」、「後継者問題」となっており、仕入単価の上昇が見受けられる中、店舗・設備等の老朽化対策を考える事業所が増加している。

**【サービス業】**  
サービス業においても上記【飲食・宿泊業】同様に全体的に悪化の傾向が表れている。経営上の課題については1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」、「同業者、大型店等の進出」、「店舗、設備等の老朽化」、「人件費以外の経費増加」、「従業員の確保」3位「販売代金の回収難」、「仕入単価の上昇」が挙げられており、需要の停滞をはじめとした幅広い課題を抱える事業所が増加している。